

「看護師のキャリア開発」に関する現状調査



公益社団法人 長野県看護協会

看護師職能委員会 I

「看護師のキャリア開発」に関する現状調査

(公社) 長野県看護協会看護師職能委員会 I

調査目的：長野県看護協会看護師職能委員会 I において企画した研修会「看護師が生き生きと働き続けられるための『キャリア開発』」開催に際し、受講生が自らのキャリアやキャリア開発をどの様にとらえているか現状を把握し、今後の委員会活動並びに、看護職のキャリア開発に役立てる。

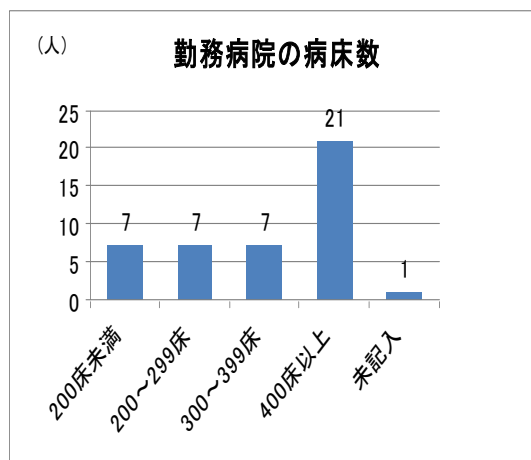
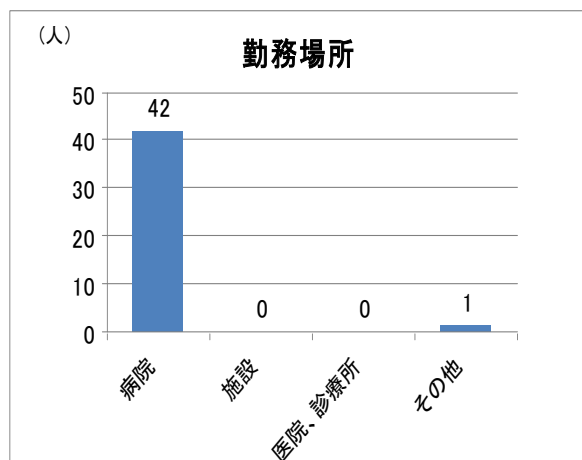
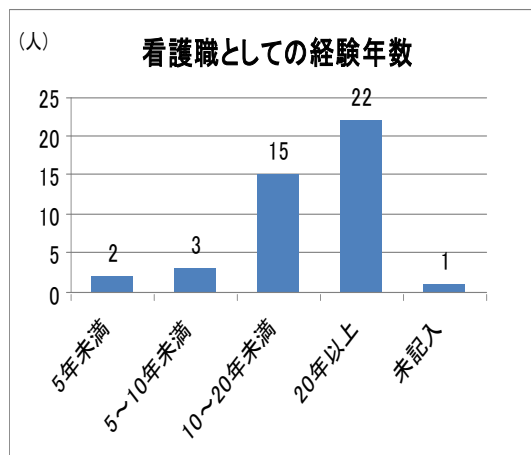
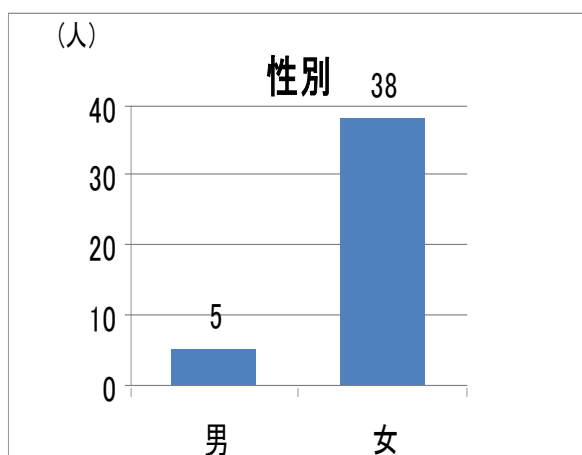
調査対象：平成 27 年度長野県看護協会看護師職能 I 研修受講者 46 名

調査方法：研修開始前にアンケート用紙を配布し、研修終了後回収した。

調査日：平成 27 年 9 月 15 日

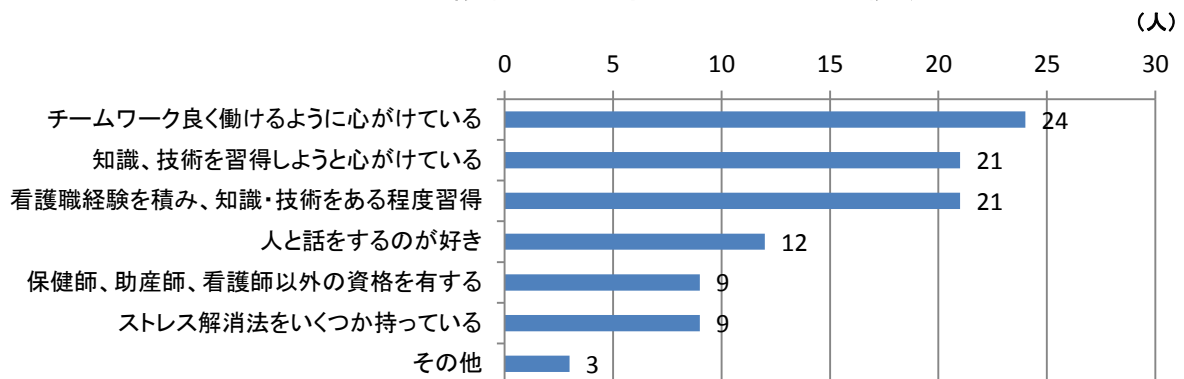
回答者数：43 名 (回収率 93.5%)

1. 調査対象属性



2. 調査結果

1.あなたが持っている看護職としての強みは何ですか(複数回答)



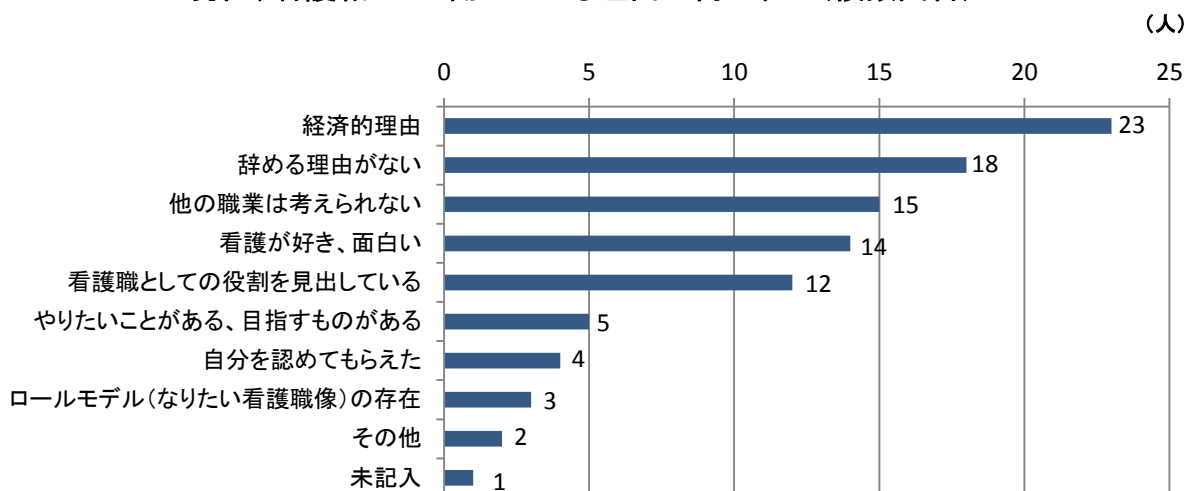
保健師、助産師、看護師以外の資格

- ・ 認定看護師 3名
- ・ ケアマネジャー 3名
- ・ 認定看護管理者
- ・ 臨床工学技士
- ・ ICLS インストラクター

その他

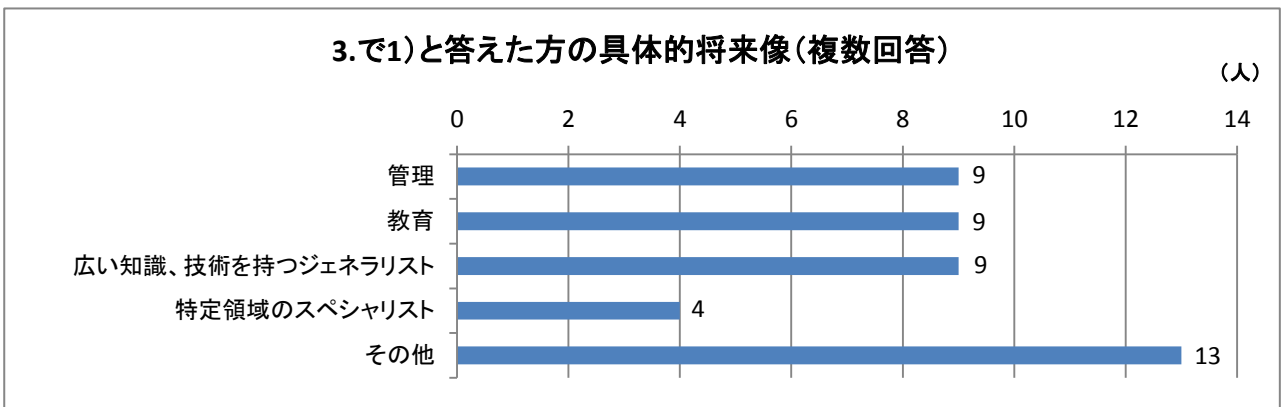
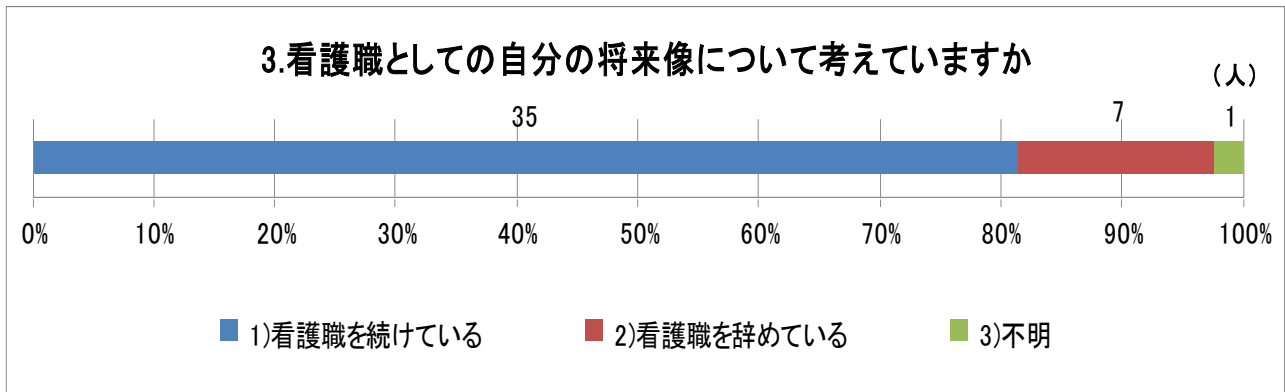
- ・ 育児経験
- ・ 介護経験
- ・ 同一職場で経験を重ねていること

2.現在、看護職として働いている理由は何ですか(複数回答)



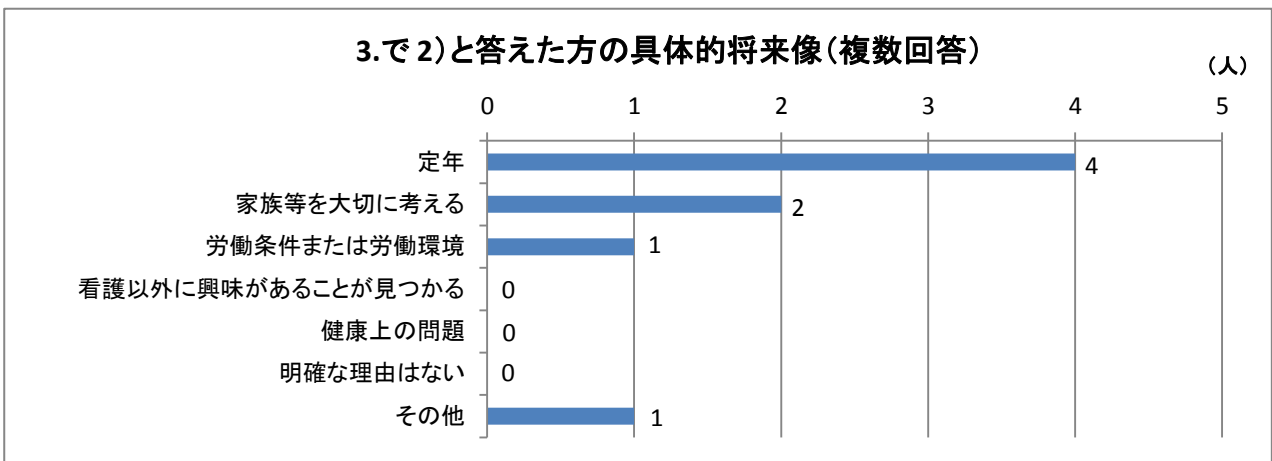
その他

- ・ 社会貢献
- ・ 患者、家族から受ける生き方や考え方に学ぶことが多い。



その他

- ・ 経済面を補える程度の勤務
- ・ 家庭の経済状況が許せば仕事量を減らし、家族と向き合う時間が欲しい。
- ・ 今ははっきりしない。
- ・ 可能な範囲で臨床（診療所）



その他

- ・ 辞める条件が整えばすぐにも辞めたい。

3. まとめ

対象者は経験年数 20 年以上が約半数であり、個々が置かれている現状で、少なからずキャリアについて関心があるものと考え。看護職としての強みは、ひとり平均 2.3 項目を選択している。自らの強みを認識する機会となると良いと考える。職場のチームワークを意識している人が多く、専門職として知識や技術の習得にところがけていたり、ある程度習得していると認識している人が半数以上いた。ストレス社会において解消法を具体的に持つことが望まれるが、今回の結果では複数の解消法を持つ人は 9 名であった。

働いている理由は、「経済的理由」が最も多かったが、あえて看護職を選択している理由をさらに詳しく求めると良かった。「自分を認められた」「やりたいことがある」等、自己のキャリア開発につながる理由の選択は少なかった。

看護職としての自分の将来像については、80%以上の方が働き続けたいと考えている。

研修会での講師の言葉を引用すれば、「キャリアとは、看護職として社会で活躍する=生きるプロセスである」今回の調査では、対象を研修受講者と絞ったため、キャリアについての傾向は明確にはならなかった。しかし、回答の分析から看護職のキャリアに関する意識や現状を知る機会となり、今後の委員会活動に活用したいと考える。